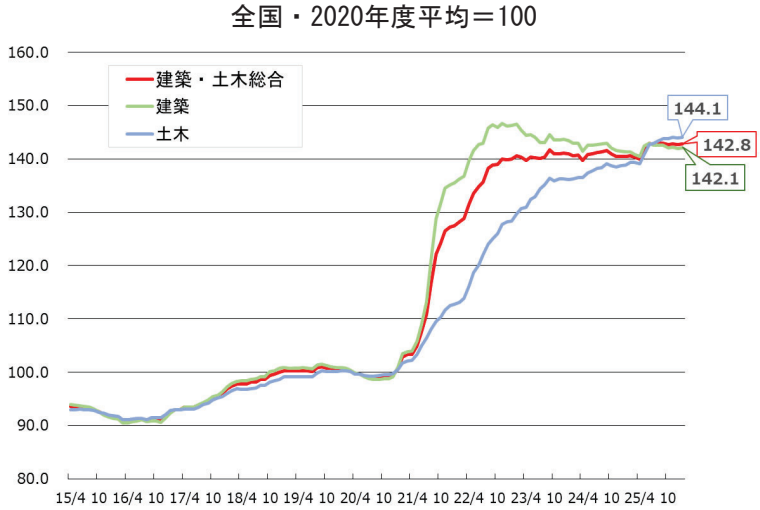
積算資料　建設資材価格指数

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指数は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指数です。年々変化する建設工事の内容に対応した総体的な価格変動を表す総合資材価格指数として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

指数の推移（2026年1月調査）



	当月指数	前月比	前年同月比
建築・土木総合	142.8	+0.1	+2.3
建築	142.1	+0.1	+0.8
土木	144.1	+0.2	+5.2

指数の詳細な計算結果はこちら
https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/

部門別 主な指数の動き（主要10都市）

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木総合	●コンクリート二次製品：+22.5福岡、+0.1仙台 ●再生アスファルト混合物：+4.6新潟 ●普通鋼鋼材：+0.4大阪	●瀝青材：-2.0札幌・仙台、-1.9新潟・高松、-1.8広島、-1.7名古屋、-1.6大阪・福岡、-1.3東京・那覇
建築	●コンクリート二次製品：+27.0福岡、+0.1仙台・新潟 ●再生アスファルト混合物：+4.6新潟 ●普通鋼鋼材：+0.5大阪	
土木	●コンクリート二次製品：+15.1福岡、+0.1仙台 ●再生アスファルト混合物：+4.6新潟 ●普通鋼鋼材：+0.2大阪	●瀝青材：-4.7東京・名古屋・大阪・広島、-4.4福岡、-4.3仙台・新潟・高松、-4.1札幌、-3.4那覇

指数集計対象資材の市況

1月調査に基づく建設資材価格指数は、建築・土木総合で前月比0.1ポイントプラスの142.8となった。また、建築、土木両指数もそろってプラスとなった。3指数全てが前月比プラスとなるのは2カ月振り。福岡地区のコンクリート二次製品や新潟地区の再生アスファルト混合物の市況上伸が指数の上昇圧力となった。また、これまで需要低迷を背景に軟調推移が続いてきた普通鋼鋼材も、安値競合に一服感が見られ大阪地区では上昇に転じている。製販側は、この機に販売価格の引き上げ意向を強めており、鋼材市況は久しぶりに市況反転の兆しがみられる。こうした状況を反映して、1月の土木指数は最高値を更新しており、先行きも土木系資材を中心に資材市況は強基調推移が続く見通し。そのため、指数も底堅い動きが続きそう。

指数に関するお問い合わせ先

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 研究成果普及部　TEL.03-5777-8212

©2026 一般財団法人 経済調査会